

クラウン撤去鉗子

13B3X00365000431

滝口弘毅

はじめに

日常臨床でクラウンを脱さなければいけないケースは、しばしば遭遇します。
なるべくクラウンを削除する手間を少なく、撤去するために考案された鉗子です。
脱したクラウンはそのままテンポラリークラウンとして使えるので大変便利です。

使い方

クラウン撤去鉗子の試適

1. クラウン撤去鉗子の平らな先をクラウンの歯頸部先端に当て、一方の細い先を咬合面に当て咬合面のどのへんに撤去鉗子の先端がくるかを確認します。マジックペンで印を付けても良いです。
2. クラウン咬合面に付けた印の箇所にタービンで穴を開けます。(図1)
3. クラウン撤去鉗子の平らな先をクラウンの歯頸部先端に当て、一方の細い先を咬合面に開けた穴に入れクラウンを撤去します。(図2)



注意

タービンで開けた穴が金属の削りカスで詰まったり、歯台が金属の場合、いくら削っても穴が開かないような錯覚をおこすので、よく水洗し、貫通したかどうか、確認することが大事です。

(有)木村鉗子製作所

一般医療機器 製造販売業 13B3X00365

東京都墨田区向島 1-18-9
TEL.FAX 03-3623-1232
E-mail Kimura.kanshi@nifty.com
<http://www.kimura-kanshi.com/>